



今年の高校入試を分析したら、こんなことがわかりました！

合格者の社会の平均点は、56.6点

☆正答率が高かった問題は3分野融合に関する問題です。
小問別では、基本的な知識に加え、地図や統計などの各種の資料を読み取る技能の定着が図られています！



正答率^(※)の低かった問題を見てみましょう！

<地理的分野>では…

- 歴史的分野で扱う国との関連で、国名などの知識を問う問題が、37.8%
→ 地球規模での位置関係をとらえるための基礎的な知識や技能が不足
- 3つの経済圏の共通の課題について資料を基に考察し説明する問題が、35.0%
→ 複数の資料を関連付け、判断して説明する力が不足

単に覚えるだけの学習にならないよう、地図帳を活用した学習活動を行いましょう！また、生徒の関心を引き出す指導の工夫をしたり、さまざまな資料を手がかりに、地域的特色を考察し、自分の言葉で表現させたりする活動を授業の中でも多く取り入れましょう！

<歴史的分野>では…

- 倒幕をめざした理由について、資料を基に考察し説明する問題が、13.7%
→ 複数の資料を関連付け、判断し説明する力が不足

さまざまな資料を関連付け、歴史的事象の意味や背景を考察し、自分の言葉で表現させる活動を授業の中でも多く取り入れましょう！

<公民的分野>では…

- 司法改革制度について、具体的事例を通して説明する問題が、24.0%
→ 現代社会をとらえる見方や考え方を資料を基に考察し、説明する力が不足

現代社会をとらえる見方や考え方を活用し、具体的・体験的事例を考察する場면을授業の中でも取り入れましょう！

<3分野融合>では…

- 日本の経済成長率の増減と戦後の主な出来事との関連について、資料を基に考察し、判断する問題が 36.8%
→ 我が国の現代の特色をとらえる力が不足

歴史的事象の指導に当たっては、地理的分野との連携や公民的分野との関連にも配慮しながら、多面的・多角的に考察する能力を育てる工夫を、授業の中で取り入れましょう！



日々の授業が変われば、生徒の学力は身に付きます！

各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！

くわしい分析は、学力検査問題と報告書を見てくださいね！

(※)正答率については、合格者5,112人の中から、無作為に抽出した650人(12.7%)分のデータです。

小問ごとの内容及びねらい

大問	小問	内容	出題のねらい	出題形式			評価の観点			正答率	
				記号選択	用語記述	記述	知識理解	思考判断表現	資料活用技能		
1	1	地理的分野	(1) 六大陸の位置と名称について理解している。		○		●		●	91.2	
			(2) スペインの位置とヨーロッパの植民地支配について理解している。		○		●		●	①37.8 ②93.9	
			(3) 地図から日本の対蹠点を求め、地球の大まかなとらえ方をつかむことができる。	○			●		●	37.1	
			(4) アフリカの輸出品構成と、カカオ豆と原油の国際価格の推移との関連について考察し、説明することができる。			○		●	●	47.8	
			(5) 3つの経済圏の共通の課題について、各国1人当たりの国民総所得の資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	35.0	
	2		(1) 近畿・中国地方の地形について理解している。	○			●			83.5	
			(2) 資料から4つの県の特徴を読み取り、その中から千葉県を判断することができる。	○			●	●		69.7	
			(3) 資料から瀬戸内工業地域の特徴を読み取ることができる。	○			●		●	76.5	
			(4) 地形図を基に、地図記号や標高を読み取ることができる。	○			●		●	77.7	
			(5) グローバル化が進む中で、資料を基にどのようなことを心がける態度が必要か、論述することができる。			○		●	●	45.0	
2	1	歴史的分野	(1) 古墳時代を理解している。	○			●			97.7	
			(2) 奈良時代における仏教について理解している。	○			●			55.8	
			(3) 古代から中世にかけての政治の権力の移り変わりについて理解している。	○			●			63.2	
			(4) 中世において農業技術が発達した背景について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	55.8	
			(5) 薩摩藩と長州藩が倒幕をめざした理由について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	ア13.7 イ60.2	
	2		(1) ザビエルについて理解している。		○			●			93.7
			(2) 上方から江戸へ文化の中心の変化について、資料を基に考察し、判断することができる。	○				●	●		55.6
			(3) イギリスの産業革命が、日本やアジアに影響を及ぼしたことを説明する資料を、写真から判断することができる。	○				●	●		71.1
			(4) 日本が開国後、治外法権を認めていたことについて、資料を基に考察し、説明することができる。			○			●	●	31.2
			(5) 大正時代、活字文化が広まった背景について、資料を基に考察し、説明することができる。			○			●	●	53.5
3	1	公民的分野	(1) 三権分立について理解している。		○		●			74.9	
			(2) 衆議院の優越について理解している。	○			●			63.8	
			(3) 議院内閣制について理解している。	○			●			84.2	
			(4) 公債の発行について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	36.3	
			(5) 司法制度改革について、具体的事例を通して考察し、説明することができる。			○			●	●	24.0
	2		(1) 日本銀行の役割について理解している。	○				●			76.6
			(2) 規制緩和について具体的事例を通して理解している。	○				●	●		79.4
			(3) 男女共同参画社会基本法について具体的事例を通して理解している。		○			●	●		48.0
			(4) 円高・円安について、具体的事例を基に考察し、判断することができる。	○					●	●	53.6
			(5) 核兵器の廃絶に向けて日本が国際社会にうたえていくべきことを、資料を基に考察し、論述することができる。			○			●	●	45.9
4	融合	(1) 黒潮について理解している。		○			●			86.9	
		(2) 日本の経済成長率の増減と戦後の主な出来事との関連について、資料を基に考察し、判断することができる。	○				●	●		36.8	
		(3) 持続可能な社会を形成するための取組について、資料を基に考察し、判断することができる。	○					●	●	84.3	
		(4) 宮崎の観光産業のより一層の活性化について、資料を基に考察し、論述することができる。			○			●	●	62.8	